

松波小学校だより

第2号
令和4年5月31日
能登町立松波小学校

珍しいもの

朝、玄関で検温チェックカードを確認していたら、六年生が「女王アリがいます。」と教えてくれました。「ジョオウアリ???'」と思い「どこにおる?」と聞いたら連れて行ってくれた場所は、六年生の下駄箱の前です。確かにいました、いました。1.5センチメートルくらいもある大きな大きなアリです。普段見かけるアリの3倍くらいありそうです。女王蜂は知っていたけど、アリにも女王アリがいるとは。初めて見ました。「頭、胸、腹」の腹の部分がぷっくりと大きかったです。そうか、これが女王アリなんだと感心しました。ちょっと賢くなった気分です。

その後、外で花壇の整備をしてくれていたスクールサポートスタッフの山本さんが校長室の窓のところに来て、「あれ見てください。」と空を指さしました。見てみると、太陽の周りに輪っかみたいなのができていました。ちょっと虹みたいに色がついていました。さらに下の方には虹も出ているようでした。

へえ、珍しい、こんなの見たことない、児童にも見せたいと思いました。ちょうど授業の合間の10分休みだったので校内放送してもらい、全校児童に知らせ空を見るように伝えました。

児童の反応はどうかと2,3階へ行って見ると、みんな歓声を上げながら、窓から空を眺めて「丸いよ。」「光つとる。」などという声も聞こえてきます。

ちょっとネットで調べてみると、「太陽や月に薄い雲がかかった際にその周囲に光の輪が現れる大気光学現象のことである。特に太陽の周りに現れたものは日暈（ひがさ、にちうん）、月の周りに現れたものは月暈（つきがさ、げつうん）という。」と書いてありました。さらに調べると、「**よいことが起こるお知らせ**との昔からの言い伝えもある。」とも記されていました。

松波小学校のみんなによいことがあるといいなと思いました。



令和4年5月

松波小学校 校長 前田 稔子